

藻場造成施設の機能を強化する技術の開発

背景

磯焼け解消のため、藻場造成施設（嵩上げ礁）の導入が行われている。施設上で育つ海藻の繁茂を促進する技術が必要である。



磯焼け

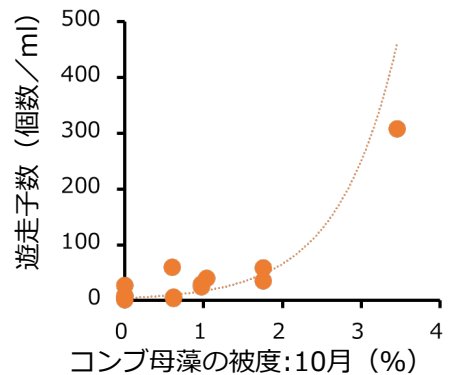


藻場造成施設内のコンブ群落

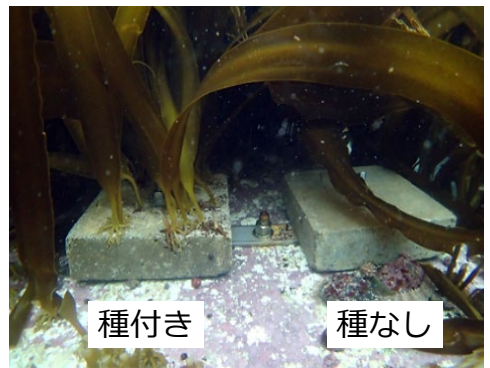
成果

1 種付き基質でコンブ母藻を増やす

母藻が多いと種（遊走子）の放出量が多い



人工的に種を付けた基質を設置し母藻を増やす

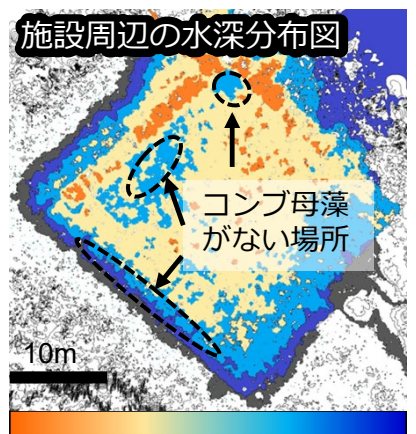


種付き

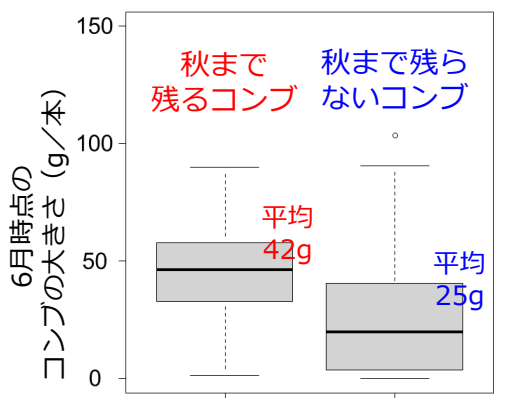
種なし

2 良いコンブ母藻が育つ条件を解明

条件①：深い場所では母藻が育ちにくい



条件②：初夏まで成長がよいと、秋（成熟期）によい母藻となる



期待される効果

藻場造成機能の強化により磯焼けが解消され、磯根資源（ウニやアワビ）の生産性向上に寄与する。

(協力機関：寿都漁業協同組合、寿都町、後志地区水産技術普及指導書岩内支所、北海道)